

どの中、体や荷物をととのえて、寝たが、しかし、あまりの寒さのため、30分位で2人とも目をさめました。

しかたないので、また自転車をこぎはじめた。そして、しばらくして、夜が明けた。また、ずーとずーと登り坂である。この下田の道は、修善寺への道がくねくねして12険しい山道であるのに対して、この道は、くねくねしてはいることあるが、かなりまっすぐな道であるが、長距離にわたって、険しい登り坂である。それでも、峠に近づくと、人家もなくなり、道も、くねくねとして険しくなってきた。修善寺に向かう道と、この下田に向かう道が、僕にとって、かなり印象が、

残っている道である。(この2つの道を自転車を引きずり、歩いているとき、昔ながら、自転車のなごに、僕にも同じ歌が聞こえるようにと、ウォークマンに、スピーカーをつけたものをおき、僕は、ウォークマンのおなじみのホンカスの音楽でなく、スピーカーからの新鮮な音楽を聞いた。音楽の内容は、ECHOES や 浜田省吾や 河合さゆりなどの歌だったと思う。)

険しい道を登り、ついに、天城峠を越えた。峠を越えれば、こゝまでとは180度違って超楽な道である。とてもすこしい下り坂なので、スピードも50km/h位は出ているおな気なした。スピードが速いことは、いいことだが、僕の自転車の前輪のブレーキが途中でためになてこわれてしまい、しかも、後輪のブレーキは出発する日の前日に、まちがって油をさしてしまたがゆえに、ほとんど動かないので、自転車を減速させ、止めるときには、足でくつを地面と、接触させながら、上まわし、スピードが弱まったら、自転車から飛びおいて、足で大地を踏みしめて、自転車をよめたりさせて、なかなか大変でした。途中にはループ状の形をした橋(次のページの写真)があり、おそろしい形をした橋だなあ、と思った。かなり道を下ったら、河事という所についた。そろそろ、

昼時なので、「のり竹」という店に入り、カツ定食を食べた。この旅行で、こゝら普通の食事店に入るのは、こゝが最初であり、最後であった。それ以前は、セブンイレブンなどのコンビニエンスストアでパンやおにぎりを買って食べていた。しばらく、自転車をこぎ、海に出て、海沿いの道を南に走り、下田に到着した。